



Hola! (オラ!こんにちは)

オラが町

オリパラ通信 Vol.23

チリ・パラカヌー選手と オンライン交流会

パラリンピック大会を半年後に控えた2月9日、加美町と南三陸町、チリをオンラインで繋ぎ、チリのパラリンピックカヌー選手団と交流しました。

参加したのは、2019年の事前合宿で、選手団と交流した中新田高カヌー部

員、志津川高の生徒です。

生徒たちは、約1年半ぶりに会う選手に「HOLA（オラ）」とスペイン語であいさつ。

ロビンソン選手は「こんにちは。みんなに会えてうれしいです」と日本語で挨拶を返し、カテリン選手は、近況を報告し、待ち望んだ再会を喜び合いました。



▲オンラインで交流

世界で活躍する 選手に質問!!

中新田高カヌー部員は、「カヌーを始めたきっかけは?」「大会前の緊張のほぐし方は?」など、選手たちに質問しました。

アリエルコーチからは「肉体作りだけではなく、精神力を鍛えることも重要。い

つか世界大会で会おう!」と激励を受けました。

スペイン語であいさつをした佐々木主将(2年)は「大会が中止になりやる気が落ちかけていたけれど、頑張っている選手と話して、自分も前向きになれた」と目を輝かせていました。

「また会いましょう!」

12時間の時差、言葉の壁を越えて、加美町とチリの絆がより深まることになった交流会。

加美町は、今後もホストタウン事業に積極的に取り組んでいきます。

